

**【港南区】 令和 2 年第 2 回区づくり推進横浜市会議員会議
議事録**

開催日時	令和 2 年 6 月 9 日（火） 午後 3 時 00 分～午後 4 時 30 分
場 所	港南区役所 6 階 603 会議室
出席者	<p>【座長】 安西英俊議員</p> <p>【議員：4 名】 瀬之間康浩議員、田野井一雄議員、みわ智恵美議員、梶尾明議員</p> <p>【港南区：30 名】 今富雄一郎区長、齋藤紀子副区長 馬淵勝宏福祉保健センター長、 水野圭一郎福祉保健センター担当部長、 井深清港南土木事務所長 ほか関係職員</p>
議 題	<p>1 令和 2 年度個性ある区づくり推進費の執行計画について</p> <p>2 令和 2 年度港南区に係る予算の全体像について (繁野総務課長説明)</p>
発言の 要 旨	<p>梶尾議員：新型コロナウイルスに関し、防災の観点からも引き続きの取組が必要と考えるが、区民の皆様へのわかりやすい広報等、夏までにどういった取組をしていくか、考えを聞かせてほしい。</p> <p>森山福祉保健課長：感染予防に関するわかりやすいリーフレットを作成するなど、周知の方法について工夫していきたいと考えています。</p> <p>高岡区政推進課長：市民の皆様や事業者向けの各種支援メニューについてまとめ、内容は変わっていきますので、最新の情報に更新し、ホームページや庁舎内に掲示していきます。</p> <p>梶尾議員：引き続き周知に努めて欲しい。今後台風シーズンを迎えるにあたり水害等も想定されるが、避難所における新型コロナウイルス対策についてどのように考えているか。</p> <p>繁野総務課長：避難所が 3 密とならないよう、可能な範囲での在宅避難や親類宅等への避難を啓発していきます。また、出水期においては、開設する避難所数を増やすとともに、体育館以外の教室を活用するなど、より多くの部屋数を確保できるよう、施設管理者と調整を進めています。避難所内での感染防止対策として、検温や体調確認、マスクや消毒剤の準備や、ソーシャルディスタンスを保つためのパーティションの購入などをしていきます。</p>

梶尾議員：様々な取組は、スピード感を持ってすすめてもらいたい。次に、地域 SNS アプリ「ピアZZ」に横浜市として初めて港南区が事業者と連携協定を締結したということだが、情報発信のツールとしてとても期待している。導入に至った経緯は。

高岡区政推進課長：令和元年度に行った区民意識調査において、地域とのつきあいが希薄であるという回答が 30 歳代で 4 割を超える結果となりました。そのような背景の中、上大岡エリアにおいて、地域密着型 SNS を展開していた株式会社 PIAZZA 様から提案をいただき、協定締結に至りました。

梶尾議員：一人でも多くの区民に利用していただくことで盛り上げていくて欲しいが、利用促進にあたりどのような広報を考えているか。

高岡区政推進課長：港南区に転入された方へ区民生活マップやくらしのガイドをお渡しする際、「ピアZZ」のチラシも一緒にお渡しします。また、区内公共施設へのチラシの配架や、保育園・幼稚園のご協力もいただき保護者の方へチラシを配布するなど、様々な機会をとらえて、登録者を増やすための PR を行っていきます。

梶尾議員：地域行事等で QR コードを掲示するなど、気軽に試してもらう機会を作って周知してはどうか。自治体からの情報発信へのアクセスのしやすさは区民にとっての安心感につながるので、積極的に進めていくて欲しいし、応援したいと思う。

今富区長：ポスターに QR コードを載せているので、よろしければお試しいただけたらと思います。

みわ議員：新型コロナウイルスの影響で、川のクリーンアップなど様々な行事が中止となっている。流行は収束傾向にあるものの、無くなった訳ではないので、区における各種行事・事業の見直しが必要だと思うが、区としてどのように考えているか。

今富区長：ソーシャルディスタンスを保つなど、当面は新型コロナウイルスありきで考えていかなければならず、お祭りなどの地域行事が中止となるなどの影響が出ています。これまでやってきたことに代わるものを、地域の皆様と意見交換しながら考える必要があると思っています。集まることができなくなった早い段階で、各地域の方から困っていることについてお話しを伺ったところ、総会が開けなくなったが、書面総会の開き方が分からないという声があり、手法についてお伝えしたということがありました。地域の

ことについて、集まる以外の代替の手段というのはなかなか難しいところでもあります、検討してまいりたいと思います。

みわ議員：災害対策本部機能促進ということで、風水害における対応訓練強化の実施とあり、先ほども新型コロナウイルス感染予防のための物資に関する話もあったが、コロナ状況下での実際の動きについて検証しているのか。

繁野総務課長：港南区では、定期的に区の災害対策本部の訓練を実施していますが、これまでは震災をメインとした訓練であり、避難所運営を含め風水害の災害対策本部訓練を総合的に行ったことはありません。しかし、最近は大きな風水害が発生し被害が出ており、区としても迅速な対応の必要があるため、避難所を開設するタイミングや人員、役割などを、今後きめ細かく訓練していきたいと考えています。

みわ議員：高齢者から小さな子どもまで、様々な状況の方を受け入れ、かつ、新型コロナウイルスへの対応も求められる中で、市からも対応する人員を増やすように指示が来ているようだ。実際にやってみないと分からないこともあると思う。先ほど、避難所を増やすという話の中で、学校の体育館だけでなく教室もということがあったが、教室が避難所になった場合、子どもの学習の場はどうなってしまうのか。東日本大震災でもなかなか授業が再開できないという問題があった。避難所を学校の中だけで拡充するのではなく、例えばホテルなど、貸していただける場所の検討はしているのか。

繁野総務課長：避難所は、震災と風水害とで大きく2つに分かれます。震災に関しては地域防災拠点が入区内に31箇所あり、様々な機能が必要なため、それ以外の場所で増やすということは考えていません。風水害に関しては色々なパターンがあり、現状は区内の学校や地区センターなどを避難所としていますが、場合によっては様々な場所を視野に入れて検討していく必要があると思っています。また、学校の教室利用については、授業優先となるよう支障のない範囲で学校と調整しています。

みわ議員：新型コロナウイルス感染症の予防と避難所の運営の両立は大変なことだと思う。避難所での対応として、陽性患者の隔離を行うにあたり、PCR検査を受けやすくする必要があると思うが、ド

ライブスルー方式のみならず、避難所と同等の単位で受けられる場所を設置すべきではないかと考えている。

瀬之間議員：PCR検査について、横浜市でも簡易検体採取を現状6か所でモデル的に実施しており、今後拡大していくとのことだが、港南区の実施状況を教えて欲しい。また、区内でPCR検査を実施している場所を教えて欲しい。

森山福祉保健課長：PCR検査の実施状況及び実施している医療機関については、区別には公表しないこととされております。対外的に公表していないためお答えができません。なお、検査の実施状況ですが。既に民間での検査が順次行われており、また、ドライブスルー方式や帰国者相談センターでの検査も行っているため、相当数の検査が実施されていると見込まれます。医療機関で民間検査会社に検査を出した場合、市に報告があるのは、陽性の場合のみであるため、詳細な数値は分かりません。また、医療機関でも検査受け入れの体制を順次整えていくと聞いているので、検査は受けやすくなると思っています。

瀬之間議員：ラポール上大岡と連携した地域における障害者スポーツ支援事業について、新型コロナウイルスの影響で、現在はどうなっているのか。

大島高齢・障害支援課長：ラポール上大岡は1月に開所しましたが、新型コロナウイルスの影響により閉所していました。今後、開所にあたっての具体的な連携については、施設と検討してまいります。

瀬之間議員：他のスポーツ施設は6月から部分的に開所しているが、ラポール上大岡は今も完全に閉所しているのか。

大島高齢・障害支援課長：現在は開所しているが、地域の方々への周知ができていないため、近々、広報よこはま港南区版において、障害者の特集を組むとともに、ラポール上大岡についても周知していきます。

安西議員：港南区公会堂の整備について、自転車駐車場の附置等に関する条例に基づき、駐輪場の設置を要望し進めてもらっているが、現在の進捗よく状況を教えて欲しい。

高岡区政推進課長：公会堂の駐輪場は、旧区庁舎の防災備蓄倉庫の用地に整備します。台数ですが、横浜市自転車駐車場の附置等に関する条例に準ずる台数を整備します。今年度は、駐輪場の実施設計を

行ってまいります。

安西議員：奥まった場所になるため、案内サインなどについても区で確認するようにしてもらいたい。公会堂の会議室について図面等を見させてもらった。会議室は多様な使われ方が想定され、小規模から他区の事例では最大50人利用できるようなところもあるので、レイアウトの工夫など、様々な利用ニーズに対応できるよう備えてもらいたい、区としての考えはあるか。

高岡区政推進課長：公会堂の会議室は2部屋あり、広さはそれぞれ約50㎡です。2つの会議室は可動の間仕切りでなく、固定の壁で仕切られるため、大きさを変えることはできない仕様となっています。ご提案いただいたように、机や椅子のレイアウトについて複数のパターンを用意し、ホームページに掲載するなど、様々な用途にご利用いただけることを、区民の皆様にも周知してまいります。

安西議員：その場で使わない机や椅子等の保管場所などについても工夫し、上手に運営できるようにしてもらいたい。公会堂の工事に伴い、鎌倉街道沿いにある港南区消防団の第三分団の器具置き場を港南ふれあい公園内に移設すると聞いているが、現在の進捗状況と、器具置き場の跡地をどのように活用するのか、器具置き場の整備状況についても教えて欲しい。

高岡区政推進課長：消防団の器具置き場の跡地については、現在「港南区総合庁舎前」バス停付近で、バス待ちのお客様の滞留と歩行者の動線に課題があるため、その動線の交錯解消を目的として、消防団の器具置き場の跡地は空地にしたいと考えています。なお、港南ふれあい公園内の新たな消防団の器具置き場の整備状況ですが、これから設計を進めていくところです。

安西議員：バス停の付近は一時的に人が流入する場所であり、バス停が増設されることや、敷地内のひろばに緑比率の関係でかなりの木を植えなければならないという景観上の課題もあるため、見栄えを優先するあまりに歩道の動線が確保できないといったことにならないよう、区としてよく見て改善していってもらいたい。また、地下鉄の出口から公会堂まで地下道でつなげたいが、できないということで、屋根かけなど雨に濡れない設計をしてもらっているが、現在の進捗状況を教えて欲しい。

高岡区政推進課長：地下鉄出入口から公会堂入り口までの屋根かけについて、昨年度実施設計を行いました。早ければ今年の夏ごろから工事を開始し、公会堂開所の際には屋根が完成していることを目指しています。

安西議員：バス停周辺の動線確保のため、バス停の改善も行われることになっているが、その進捗について確認したい。

高岡区政推進課長：バス停の増設について、今後警察等関係機関との協議を行い、公会堂の工事終了後に、バス停の増設工事に着手できるよう目指していきたいと考えています。

安西議員：建物の中身は、よく練られて作り上げられていくが、それに連なる動線などは手薄になる傾向があるため、完成後の状況についてよくイメージして対応してほしい。完成していない今だからできることもあるので、協力しあって改善していきたい。

関連して、丸山台の地域ケアプラザ・コミュニティハウスの現在の整備進捗について確認したい。

高岡区政推進課長：現在、建築局が基本設計に向け、関係局・区役所と調整を進めています。また、地域への説明会を昨年11月に行い、今年も秋ごろに説明会を行いたいと考えています。

安西議員：併せて、スケジュールについて確認したい。

高岡区政推進課長：現在の計画では、今年度基本設計、令和3年度に実施設計を行い、令和4～5年度に工事、令和6年度の供用開始を目指していると聞いています。

安西議員：港南区として唯一、ケアプラザが未整備のところであり、地域の要望もたくさんあると思うので、途中途中でしっかりと地域のニーズを反映させながら進めて欲しい。併せて、野庭の市営住宅の再生について、アンケートの実施状況から確認したい。

高岡区政推進課長：野庭団地の再生に向け、お住まいになっている約6000世帯を対象に、区と建築局とで3月中旬からアンケートを実施しました。現在、集計作業を進めており、回収率は約7割となっています。今月にも速報値としての結果が出る見込みです。

安西議員：速報は我々も共有できるのか。

高岡区政推進課長：情報提供させていただく予定です。

安西議員：野庭団地・野庭住宅の再生のスケジュールを確認したい。

高岡区政推進課長：今年度から、市営住宅と分譲住宅の代表者や地域の関

係者、建築局、区役所からなる、団地再生に関する協議会を設立いたします。その中で再生計画をまとめていく考えです。当初は夏ごろに協議会を立ち上げる予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で、秋ごろになる予定です。なお、再生計画については、お住まいの方々のニーズを把握し、協議会において方向性の確認などを行いながら、検討を進めてまいります。

安西議員：要望になるが、新型コロナウイルスに関連する状況や支援メニューの件数等について、定期的に区の議員に情報共有してもらうことはできるか。

繁野総務課長：我々も、支援メニューが区民の方にどのくらい利用されているのか等情報収集していきたいと考えているため、先生方にも折を見て情報共有できるタイミングがあれば、お知らせをしたいと思います。

安西議員：様々な事業の利用状況をよく知ることで、その事業がより良いものとなる可能性もあるので、検討いただくよう要望します。

田野井議員：新型コロナウイルスに関連し、区民の方から福祉保健センターにどのような要望や相談があるのか、現状を教えて欲しい。

森山福祉保健課長：新型コロナウイルス感染症に関する問い合わせとしては、近くの医療機関で受診できない、家族が感染した場合はどうしたらよいか、企業内で従業員が感染者した場合の対応などがあります。また、PCR検査について、初期段階ではなかなか受けることができなかつたため、関連するお問い合わせが多数ありました。

田野井議員：我々議員のところにも、市民の方から「高熱が出ているので病院を紹介して欲しい」といった電話が頻繁にある。北九州市で話題になっているように、一度陰性となっても再度陽性となることもあり、感染者の追跡調査など、港南区医師会との連携はどのようにになっているのか。

森山福祉保健課長：最近では、ドライブスルー方式による検査に関し、港南区医師会様に輪番で対応いただくなどご協力いただいています。

田野井議員：ドライブスルー方式の検査はどこで行っているのか。

森山福祉保健課長：混乱を避ける必要と検査に来られる方のプライバシー保護の観点から、場所については非公開となっていますが、市内

10 か所程度の設置を予定しています。

田野井議員：医療崩壊につながるようなことになっては大変なので、線引きをどうするかが課題と考えている。

ところで、昨年度の港南区制 50 周年に関しては、企業による協賛などもあり、大成功に終わったと感じている。

昔から恐れられている、地震・雷・火事に加え、今後は新型コロナウイルスにも対応していかなければならず、社会のあり方、構造等が一変していく状況である。この秋に予定されるであろう、小中学校における防災訓練について、開催の可否も含め、今までどおりの形の訓練はありえないだろうと思う。事前の机上作戦、HUG 訓練などを区役所が中心となって指導していかなければならないのではないかと。HUG 訓練の実施状況などは把握しているのか。

繁野総務課長：HUG 訓練の状況ですが、平成 30 年度は 1 か所、令和元年度は 2 か所の拠点で実施しています。ご指摘のように、これまでのようなたくさんの方に集まっていただく方法での訓練は、今の状況では難しく、市の方針としてもそういったやり方は禁止する通知が出ています。秋以降の訓練についてどのようにしていくか、各防災拠点の運営委員長の皆様と相談しながら、考えていきたいと思えます。

田野井議員：港南区には 181 の公園があるが、公園で子どもが遊んでいることについて、やめさせるよう苦情がある。ゲートボールをしてもよいのかなど、公園のあり方について地域で議論になるが、どのように考えているのか。

麻生港南土木事務所副所長：公園における新型コロナウイルス対策についてですが、流行の初期段階から区内の 181 の公園全てに、手洗いの励行、マスクの着用、ゆっくり身体を休めるという、感染予防についての看板を掲出しています。公園で子どもが遊んでいるという苦情は土木事務所にも寄せられましたが、屋外での適度な運動は健康維持のためにも必要であると考え、公園の利用については原則休止としておりません。しかしながら、あまりにも混雑の状況が酷い場合など、場合によっては感染拡大防止のため、利用上の留意点を記載した注意看板を掲示したり、複合遊具等について利用休止を求めたりする可能性があります。これらについて、

	<p>市としての方針が環境創造局のホームページに掲載することでも、周知しています。</p> <p>田野井議員：地域の方々の様々な協力がある中で、とりわけ公園愛護会の方々が公園を守ってくれているので、港南ひまわり83（ハチサン）運動の見守りからめるなど、家に籠って体調を崩すようなことがないように、適切なアドバイスをして欲しい。今後、新型コロナウイルス感染症流行の第二波、第三波が来る想定をしつつ、一方で経済も回していかなければならない。港南区制50周年の成功を思い起こしながら、愛あふれる・ふるさと港南のキャッチフレーズのもと、企業活動推進という視点も持って、しっかりと足元を固めながら、新たなコロナの時代に向かう体制を整え、頑張ってもらいたい。</p>
備 考	